

令和 5年度予算見積調書

課室名：県民広聴課
 担当名：魅力発信担当
 内線：2826

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
p2	バーチャル埼玉フェスティバル事業費			一般会計	総務費	県民費	広報広聴費	埼玉プレゼンテーション推進費	
事業期間	令和 5年度～ 令和 8年度	根拠 法令	なし			針路 分野施策	08 0802	支え合い魅力あふれる地域社会の構築 地域の魅力創造発信と観光振興	SDGsゴール 12 SDGsターゲット 12-b
1 事業概要	バーチャル空間を活用した新たな角度からの魅力発信により、埼玉の多彩な魅力を再発見できる事業を実施する。 バーチャル空間における魅力発信 36,260千円			5 事業説明 (1) 事業内容 バーチャル空間における魅力発信 ア ステージイベントの実施 11,440千円 埼玉にゆかりのある映画やアニメといったコンテンツの活用や、タレントや声優、VTuberとのコラボレーションなどによる魅力的なバーチャルライブの実施 イ 体験エリアの設置 8,030千円 リアルな距離や空間に捉われず、楽しみながら県の魅力の再発見ができるバーチャル体験エリアの設置 ウ 行政ブース・企業ブースの出展 9,900千円 県庁各課のブースや県内企業のブースを設け、出展者が制作した動画の放映や画像を掲示するなどのPR 出展者と参加者のアバターによる双方向のコミュニケーションの実現 エ サーバー増設費、ランディングページ作成、3Dモデル制作料等 6,890千円 (2) 事業計画 バーチャル技術を通して、県民の郷土に対する愛着、誇り、帰属意識を醸成する。 あわせて、県外へ本県の魅力を発信する。 (3) 事業効果 普段、行政の情報に触れる機会の少ない若者が積極的に参加し、埼玉のことを知る機会が醸成され、あわせて、移動が困難な方や子育て中等で外出が難しい方なども含め、誰もが等しく参加でき、コミュニケーションを楽しめる場が構築される。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況	なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×3人=28,500千円								
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
決定額	36,260							36,260	36,260
前年額	0							0	

事業内訳書

事業名	バーチャル埼玉フェスティバル事業費		
単位事業名	バーチャル埼玉フェスティバル事業	予算額	36,260千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	35,860	35,860	バーチャル埼玉フェスティバル制作・管理・運営費
備品購入費	400	400	バーチャル空間管理・運営用PC
合計	36,260	36,260	